

**コロナ禍における対策等について
のアンケート
集計結果（抜粋）
JCoMaaS**

**実施期間：2020年8月中旬
回答数：19社**

混雑情報を提供していくことについてや、更にこういったことが出来るのではないかというアイデアについて教えてください。

混雑情報の配信について

- 混雑情報配信は非常に重要。 **安心して公共交通を利用してもらえるような状態**につなげたい。
- 3密を防ぐため、出勤すべき曜日、時差出勤の時間帯等を検討することが多い。現在も混雑の当たりをつけて対応しているのですが、 **統計的な混雑状況**が分かれば助かります。
- 混雑情報としてその時点での混雑の状況だけではなく、 **将来の混雑の予測**を情報発信していくことも重要ではないか。
- 都市部の5分に1本あるような路線であれば混雑情報の見える化には価値があると思います。しかし地方部では30分に1本のような路線もあり、 **たとえ混んでいたとしても乗らざるを得ない状況**です。データをうまく活用してダイヤ編成に活かすことができれば路線の価値を高める可能性もあるように感じます。
- 混雑情報の提供が個人の **行動変容・意思決定にいかに関与を与えるか**という点についての知見が不足しているため今後の取り組みで蓄積できるとよい。
- **混雑とはどの段階からかを定義**し事業者・利用者で共有できるとよい。
- バスの混雑具合を、 **バス⇒鉄道に情報連携**し乗り換える予想人数として活用できるとよい。
- 混雑情報と一緒に **各種施設の混雑情報**も提供できると有益。

MaaS、他業種連携のアイデア



公共交通機関をお客さまに安心して利用してもらうことについて、交通事業者同士、交通事業者と多様なプレイヤー（システム開発会社、不動産、医療、飲食、学校など）が連携・支援体制があれば、このようなことが出来るのではないかとアイデアを教えてください。

- 「コロナ対策をしていることとその対策内容」「混雑情報」をあわせて提供するために、情報集約プラットフォームと**共通仕様API**があれば、どのようなアプリ上でも同じ情報が参照できて便利と思います。
- 情報提供には**コストもかかる**のでその部分に対して支援があるとよいと考えています。
- バス会社にとって、企業の従業員や学校の生徒を**特定輸送**のような形で運行できれば安定した収入にもつながる。通勤・通学の安全に関する取り組みをしている企業や学校への支援もよいかもしれない。
- ①ダイヤの**変更**を柔軟に行えること。②お客様の移動時間を**オフピークシフト**し平準化することによりピーク時用に準備された資産を有効活用。